

【管理運営状況公表様式】

平成30年度 青森県武道館の管理運営状況

県所管課	教育庁スポーツ健康課
指定管理者	公益財団法人弘前市体育協会 会長 春藤 英徳
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
武道その他体育・スポーツの普及・振興に関する業務	<p>(1) 青森県武道館スポーツチャンバラ道場 子どもたちの体力向上に向け、体を動かす機会を提供し、地域のスポーツの普及、活性化を図ることを目的として開催。</p> <p>(2) 「SPECIAL DANCE」教室 中央で活躍するダンサーを招へいし、県内の教職員、一般指導者、中学生以上を対象にダンスの技術指導を実施。</p> <p>(3) トップアスリート交流柔道教室 ALSOK 柔道部の方々に協力を仰ぎ、トップアスリートと地域の小・中・高校生約130名との交流を実現させ、競技力の向上と健全な精神の育成を図った。</p> <p>(4) 第9回青森県武道館小学生・中学生相撲大会 小学4年生から中学3年生までの相撲競技者を対象にして、日頃の練習の成果を発揮する機会を提供するとともに、競技力の向上と健全な精神の育成を図った。</p> <p>(5) 第14回青森県武道演武大会 県内の武道家や武道愛好家がそれぞれの巧みな技を披露する機会として開催。代々伝承されてきた各武道の優れた技法などを実際に見せることで、特に子どもたちの武道に対する興味をかき立たせ、本県武道の普及振興と将来を担う青少年の健全な育成を図った。</p> <p>(6) 県立・県営施設合同企画事業「青森スポーツ&カルチャースタンプラリー」 県内の体育施設と文化施設が共同事業を展開することで、県有施設間の共通理解と連携を深め、各施設の活性化と利便性の向上につなげた。</p>
施設の維持管理業務	利用者の快適かつ安全な利用を図るため、施設等を清潔に保ち、さらにその機能を正常に保持するため、適正な管理と建築物における法令に沿った保守点検等を実施した。
自主事業の実施	総合武道施設としての特色を活かすとともに、競技人口の増加と競技力の向上を図り、武道振興の一助とするため、柔道、空手道、少林寺拳法、剣道、なぎなたの武道教室を開催した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用者数（人）	H27	215,000	206,891	96.2%	97.8%
	H28	184,200	179,267	97.3%	86.6%
	H29	219,800	194,233	88.4%	108.3%
	H30	214,400	197,129	91.9%	101.5%
使用料収入（円）	H27	27,540,000	28,506,130	103.5%	99.5%
	H28	27,540,000	24,935,200	90.5%	87.5%
	H29	27,540,000	27,305,145	99.1%	109.5%
	H30	27,540,000	26,401,910	95.9%	96.7%

【増減理由】

・利用者数

計画よりも下回っているものの、前年度対比では2,896人増となった。
引き続き利用者増を目指し、気軽に来館できる施設運営に努めたい。

・使用料収入

前年度と比較すると903,235円の減額となった。

ここ数年開催されていたプロレス興業が中止となったほか、プロバスケットボール等の営利利用が減ったことが原因と考えられる。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	利用者アンケートの結果、運営状況、職員のマナー等に関する評価が4で、良好である。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	利用者アンケートの結果、受付案内や広報・PRに関する評価が4で、良好である。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	4	4	利用者アンケートの結果、評価が4で、良好である。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	年度事業計画書等の内容が満たされている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	灯油の利用に合わせた適切な補充や日常の見回りによる節電、節水といったコスト削減に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	文化・スポーツイベントを積極的に受け入れ、また利用者のニーズに応じて新規事業を実施するなど、利用者数の増加を図っている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	各種法令等を遵守し、年度事業計画書等に沿って適正に運営されている。
総合評価	3	3	年度事業計画書等の内容が満たされている上、サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが良好に行われている。 利用者数、使用料収入ともに目標に達しなかったものの、目標に近い数値であり、努力が認められる。 (①～⑦の平均：3.4)

○評価基準

- 5 (秀)：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績を上げている
- 4 (優)：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績を上げている
- 3 (良)：業務水準書等の内容が満たされている
- 2 (可)：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1 (不可)：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。